

佛左翼紙、
兆銘ヲ非難

注釋
機淵紙「ユマニテ」紙ノ如キハ汪カ從來カラ香港ヲハ日本側ト秘密裡ニ交渉シテ居タコトヲ指摘シテ賣國奴タト罵ツタ又日蘇聯係ニ付テハ蘇聯側カ日本側要求ヲ拒絕シタラシイトカ日本側テハ自由出漁保護ノ爲軍艦カ附近ニ待機中トカ赤軍カ滿洲國境ニ増加サレツツアリトカ報セラレタカ「エール・ヌーヴェール」紙ハ「日蘇關係ノ緊張ハ事實タカ平和的解決ノ可能性カ大イニアルコトモ見脱スヘカラス」ト論シテ居ル

首相聲明ハ日本「モンロー」主義

廿三日巴里各紙ノ多クハ近衛首相ノ聲明要點ヲ傳ヘタ東京電報ヲ
「東亞新秩序ノ内容」トカ「日本「モンロー」主義」トカ題シテ
掲載シテ居ルカ、共產黨機關「ユマニテ」紙以外ニハ論評ヲ加ヘ
タモノハナイ。又漁業條約締結交渉ニ付、「ソヴエト」政府ノ態度
カ依然不満足ナ場合東郷大使ニ對シ引揚命令ヲ發スルタラウトノ
東京新聞ノ報道ヲ傳ヘタ新聞モ少クナイ

始知此是吾家事。故急取其子上之。一過以我二女高雅，不暇入。原復遣對酒。內呼一女，一曰承平女，一曰平生女。平生女年二十，貌美，善才子。承平女年十八，色麗，善歌舞。二人俱東歸。及

五
猶
記

近衛首相ノ聲明ニ對シ

近衛首相ノ御使ニ對シ一月廿三日、御在所にてモ
ケ同聲明力防共ヲ強調シタコトニ賛意ヲ表シテ居ルカ其ノ主ナモ
ノハ次ノ通りアル。

日本ノ戰爭目的カ日支經濟提携及防共ニ在ルコトハ開戦當初カラ
渝リナイ然ルニ蔣介石ハ英・蘇ヲ恃ミトシ對日協力ヲ回避セント
シタカ日本ノ威力ニハ敵シ得ス奥地ヘ遁入シ他方内蒙モ反共ノ防
壁トシテ獨立ノ形勢トナツタ此ノ情勢ヲ前ニシテ日本ハ今回日支
協力ノ用意アリ且通商獨占ノ意ナキ旨ヲ聲明スルト同時ニ列國モ
特殊權益ノ或ルモノハ拠棄サレネハナラヌコトヲ公表シタ、日滿
支三國提携ノ具体的形態ハ右聲明ニ明カテナイカ當分支那ノ占領
ヲ繼續、各自治政府ヲ合同セシメ防共ニ邁進スルタラウ